

浄土真宗本願寺派 小倉組

# サンガ小倉

SANGA KOKURA SPECIAL ISSUE

2020 AUGUST  
8月  
臨時号  
令和2年 8月発行

お盆について  
お盆と言えば目連尊者のお母さんを餓鬼道から救つたといふ『仮説盂蘭盆經』、皆さまもよくお聞きになるお話でしょう。この話は文学や芸能にも多くの影響を与えています。『源氏物語』の「鈴虫」の巻にも秋好中宮を出家しないよういさめる光源氏の言葉の中に、成仏間近な聖として母を救う譬として出てきます。

さて、目連は淨土真宗の大切なお経である『仮説觀無量壽經』に、お釈迦様が阿闍世の母韋提希夫人に説法される場面に出て来られます。

現在新型コロナが私たちを恐怖に落とし入れていますが、生物学者の福岡伸一さんはおっしゃいます。「ウイルスは元々、私たち高等生物のゲノムの一部でした。それが外に飛び出したもので

ます。韋提希は、「世尊、わたしはこれまでに何の罪があつて、このよくな悪い子を生んだのでしょうか」と嘆かれました。

しかし福岡さんにようど、ウイルスは人間に免疫を与え、共に進化する役割も与えてきたものです。コロナは怖いものと震えているばかりでなく、病気の性質を見極め正しく怖れることができます」と。棘のあるあの

## お盆について

【小倉組前組長】西蓮寺／住職 黒田 幸裕



お盆と言えば目連尊者のお母さんを餓鬼道から救つたといふ『仮説盂蘭盆經』、皆さまもよくお聞きになるお話でしょう。この話は文学や芸能にも多くの影響を与えています。『源氏物語』の「鈴虫」の巻にも秋好中宮を出家しないよういさめる光源氏の言葉の中に、成仏間近な聖として母を救う譬として出てきます。

さて、目連は淨土真宗の大切なお経である『仮説觀無量壽經』に、お釈迦様が阿闍世の母韋提希夫人に説法される場面に出て来られ

副組長の紹介

 <p>副組長【庶務】 西蓮寺／若院 黒田 摂心</p>	 <p>副組長【会計】 萬徳寺／若院 德永 龍丸</p>	 <p>副組長 教泉寺／住職 池尻 正道</p>
---	---	---

このたび副組長の任を頂戴しました、教泉寺住職 池尻正道43歳です。住職になつて12年目となりました。現在の状況が一日でも早く終息して、何の心配もせずに人ととの交流ができる日が戻ることを切に願っています。若い副組長三名ですが、何卒よろしくお願ひいたします。

**新型コロナウイルス対策について**

みなさまを聞かせて頂くことが一番大切な浄土真宗ですが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、聞法の場を設けることが困難な状況が続いています。そんな中、少しでもご縁に触れて頂きたいとの思いから、本願寺では本願寺布教使による「お西さんを知ろう！」や、お子様でも親しみやすい仏典童話などを動画で配信しております。どなたでも本願寺ホームページよりご覧いただくことができます。

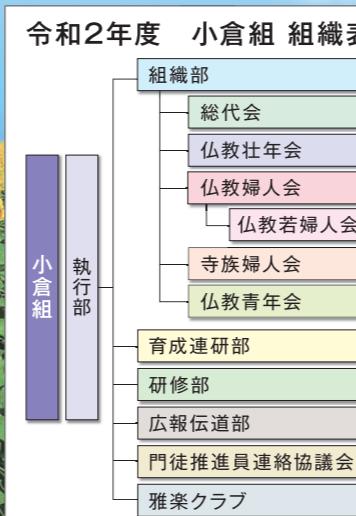
皆様の聞法の一助になれば幸いです。

● 西本願寺ホームページへ  
スマートフォンのカメラで読み込んでください

組長事務所 明恩寺  
〒803-0846  
TEL 561-4342  
FAX 561-1617  
明恩寺新組長 内藤 法徹

感想などを組長事務所までお寄せください。

● 事務所までお寄りください。  
● 明恩寺／住職 内藤 法徹





# 浄土真宗本願寺派 小倉組 新組織 担当僧侶の紹介



## 組織部



組織部【部長】  
永楽寺／住職 坂本 了一

## 育成連研部



育成連研部【部長】  
善行寺／住職 鮎屋 敬之

## 研修部



研修部【部長】  
西宗寺／住職 毛利 俊英

この度、組織部部長を仰せつかりました永楽寺住職です。

大変、力不足を痛感していますが、微力ながら勤めさせて頂きます。

1989(平成元)年に寺坊に戻りお手伝いしてまいりましたので、31年目となりました。

組織部は、①総代会、②仏教壮年会、③仏教婦人会、④仏教若婦人会、⑤寺族婦人会、⑥仏教青年会の6団体を統括する部署です。6団体は、身体で例えました小倉組の「血液」ではなく何かと思います。その活発な流れを邪魔することなく、よどませることなくサポートしてまいりたく存じます。

この度、育成連研部長に任命されました善行寺住職の鮎屋と申します。

今、日本だけでなく世界中がコロナウイルスによって大変な状況です。よく使われる表現に「ピンチはチャンス」という言葉があります。連研(連続研修)というのは全12回にわたってそれぞれの宗教的テーマを各部屋に分かれて数人で車座になつて話し合う研修会です。いわゆる3密状態です。なので今後は別の形での連研が出来ないだろうかと模索しております。困難の先には新たな世界が広がることを期待して精進して参ります。

法然聖人は、末法の世にはその時代とそこに生きる人間の資質に相応したことになりました。

また親鸞聖人は、ブッダの時代から遙かに遠く離れた末法だからこそ、長く権威と見なされてきた行証は朽ち廃れ淘汰される。しかし、末法故にこれまで見過ごされていたブッダの真実の教が、みごとに顕し出され、さらによく盛んになって輝くのだ、と将来を見据えられました。

研修の指針としたいと思います。

## 広報伝道部



広報伝道部【部長】  
古法寺／住職 長岡 厚志

## 小倉組雅楽クラブ



小倉組雅楽クラブ【担当代表】  
善龍寺／住職 前田 彰道

## 門徒推進員 連絡協議会



門徒推進員連絡協議会【担当代表】  
淨教寺／住職 藤上 良裕

この度、広報伝道部・部長を拝命いたしました、小倉鍛冶町の古法寺住職です。

小倉組の広報伝道活動といえば、組報であります「サンガ小倉」の発行と、ホームページの運営管理、それと小倉組実践運動委員会から依頼があつておりました「小倉組報恩講三寺参り」の広報資料作成などが主なる活動であります。広報活動等については、全く無知な私ですが、法泉寺さん、西楽寺さん、永明寺さん、そして明圓寺若院さんと、小倉組を広く知つて頂く、広報伝道活動を目指して精進してまいりましたので宜しくお願ひ致します。

小倉組雅楽クラブは、今期で3期目(9年目)となります。初期淨念寺様、2期萬徳寺若院様を引き継ぎ、安楽寺・長玄寺両若院様と担当いたします。雅楽は遠くインドからシルクロードを亘り、同時に東南アジアを経由して仏教と共に日本に入ってきた外来の音楽です。その音色が日本古来の音楽と融合し、やがて日本独自の優雅で纖細な雅楽となり、法要や儀式に欠かせないものとなりました。お淨土を莊厳する音色を目指し会員一同、楽しく精進したいと思います。興味のある方のご参加をお待ちします。

この度、門徒推進員連絡協議会の担当を仰せつかつた淨教寺住職・藤上良裕です。私は、仏教とは「常に考える」生き方だと思います。こんな時代だからこそ、皆さんと一緒に考えることを続けなければならないと思います。どうぞよろしくお願ひします。合掌